

# 取扱説明書

DAYTONA corp.

R72768①/①

\*取り付けする前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

\*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

\*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ローダウンKIT	適応車種	商品NO.
	<b>FAZZE</b> 〈MF11〉	72768

## ■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

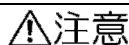
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行ってまいります。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。



警告

要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。



注意

要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

	実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
	分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。		その他	その他の警告及び注意を告げるものです。



警告

	禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>市販のローダウンブラケットのような、本来のリヤショック取付位置を変更し、車高を下げる部品との同時装着は絶対に行わないでください。ショック本体や車体取付部を破損する原因となります</li> <li>フロントフォークスプリングの交換作業には、フロントホイールの脱着作業が必要です。車体をジャッキアップしての作業になりますので、必ず安全を確保した上で作業を行ってください。</li> </ul>
	分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>この商品のリヤショックは非分解式です。ショックアブソーバーの分解、改造、または切削加工等をしてしないでください。</li> <li>サスペンションスプリングの加工等を行わないでください。本来の性能を低下させるばかりではなく、重大な事故につながる可能性があります。</li> </ul>

## ⚠️ 注意



実施

- ・ この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。
- ・ この商品の取り付けは、必ずオートバイ店または認証整備工場へ依頼し、専門知識を持った方が作業を行ってください。
- ・ 取付作業を行う前に必ず安全を確保してください。また、作業中に車体が倒れないよう、十分注意してください。
- ・ 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。
- ・ 作業終了後、必ず実際にサイドスタンドを降ろし、各部に異常がないことを確認してください。
- ・ 取り付け後約100km 走行しましたら各部を点検し、ネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約500km毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。
- ・ 車体装着後は走行フィーリングが変わりますので、必ず乗車感覚を確認してください。この作業を怠ると重大な事故につながる可能性があります。
- ・ 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- ・ この商品のリヤショックのスプリングプリロード調整部分のロックナットは、調整時以外は必ず締め付けた状態で使用してください。また、ロックナット、イニシャル調整ナットは、付属のリングスパナ（または47258）で調整し、調整後は必ずロックナットを確実に締め付けてください。
- ・ この商品のサイドスタンドは、必ず水平なアスファルトの上で使用してください。砂利の上やぬかるみの上などでは、車両が倒れる可能性があります。十分注意してください。
- ・ サイドスタンドを使用して、車両を停車させる場合は、パーキングブレーキを必ず使用してください。



その他

- ・ **この商品は、フロントは純正対比約 25mm ダウン、リヤは純正対比約 50mm ダウンのローダウン仕様となるローダウンキットです。乗り心地は純正に比べ硬くなります。**
- ・ **この商品のリヤショックは、純正対比約 50mm のローダウンですが、スプリングプリロードの調整によっては、ショックの沈み込み量が変わり、1G 状態でのローダウン量が変化します。**
- ・ コーナリング中のバンク角や最低地上高が減りますので、走行には十分注意してください。尚、これに伴う事故や怪我、車体及びカウル類の破損については、当社では一切の責任を負えません。
- ・ この商品を取り付けると、サスペンションストローク量が減り、それに伴い硬めのセッティングとなりますので、乗り心地は純正に比べ硬くなります。また、ローダウン仕様のため、リヤショックが底突きする場合があります。
- ・ この商品のサイドスタンドの取り付けには、純正部品を一部使用します。取り外した純正部品の紛失には十分注意してください。また、リターンスプリングは必ず純正部品を使用し、純正以外のものは使用しないでください。
- ・ この商品のサイドスタンド使用中（駐車中）に、車両が倒れて起こった事故やケガ、車両の破損等につきましては、一切の責任を負えません。駐車する際は、周囲の安全と駐車位置の状況を必ず十分にご確認ください。
- ・ 他社製品との組み合わせは未確認（保証対象外）です。
- ・ この商品は、予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にてご紹介した他の商品についても同様です。予めご了承ください。

## 本商品の特徴

- ローダウン時に必要なパーツを1パッケージにまとめたお買い得なセットです。
- フロントフォークスプリングは純正対比約 25mm ダウン、リヤショックは純正対比約 50mm ダウン、サイドスタンドは純正対比約 20mm ショート。足付き性の向上と低い車体フォルムを演出。

## 商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ローダウンフロントフォークスプリング	約 25mm ダウン	2	④	リングスパナ	44mm	1
②	ローダウンリヤショック	約 50mm ダウン	2	⑤	リングスパナ	50mm	1
③	ショートサイドスタンド	約 20mm ショート	1				

## 取付方法

※車体をセンタースタンドとジャッキ、あて木等を使用して確実に浮かせ、前後のホイールを浮かせた状態で作業します。次の手順で作業してください。

### ①ローダウンフロントフォークスプリングの取り付け



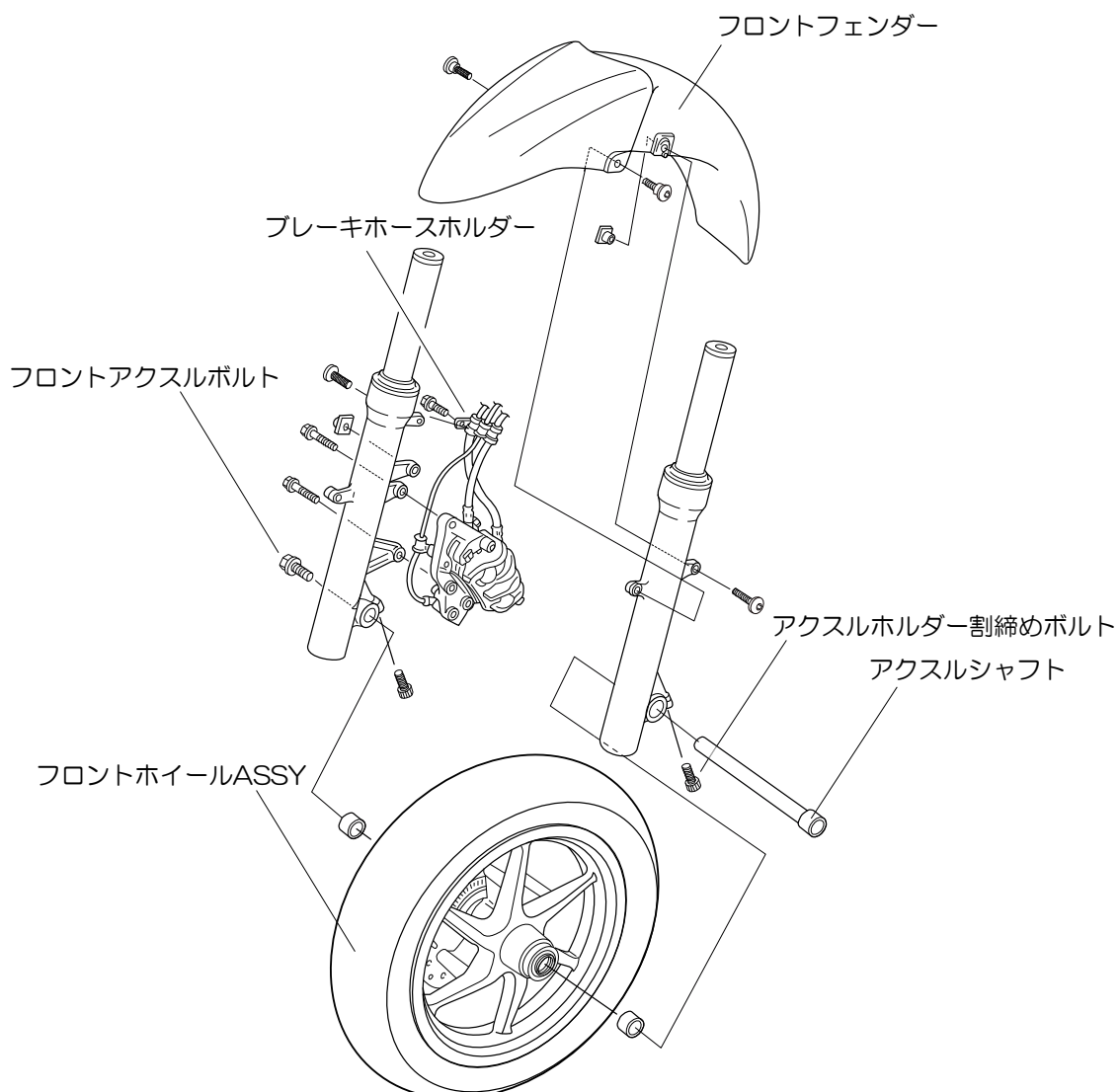
### ②ローダウンリヤショックの取り付け



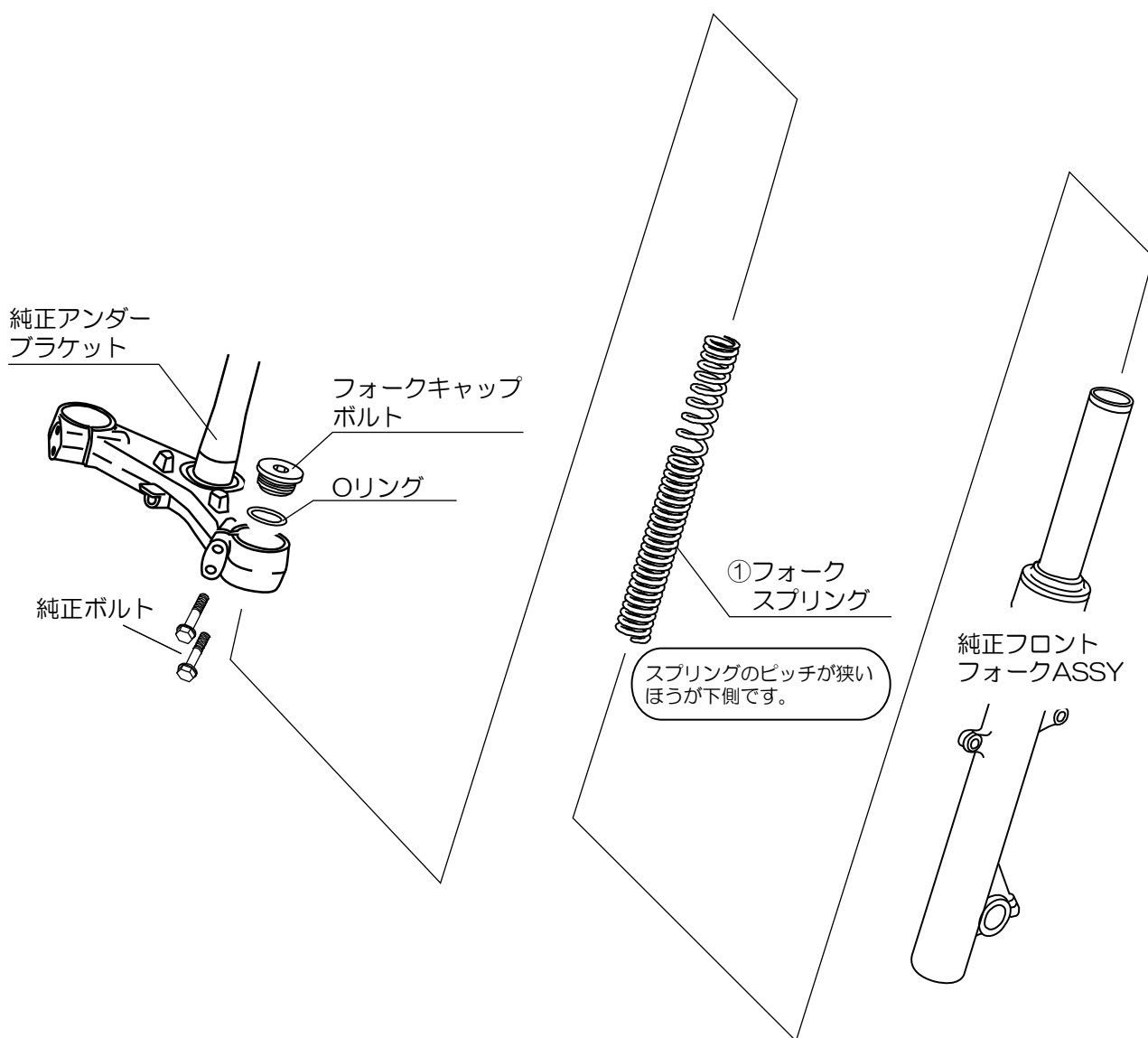
### ③ショートサイドスタンドの取り付け

#### ①ローダウンフロントフォークスプリングの取り付け

1. 右側の純正フォークアウターチューブから、ブレーキホースホルダーを固定している純正ボルト（1本）を外し、ホルダーをフリーの状態にします。
2. 純正ボルト（4ヶ）を外し、フロントフェンダーを取り外します。
3. フロントキャリパーマウントボルト（2ヶ）を外し、キャリパーをフリーな状態にします。
4. フロントアクスルボルト（1ヶ）を外し、アクスルホルダー割締めボルト（2ヶ）を緩めてアクスルシャフトを抜き取り、サイドカラー（L/R）ごとフロントホイールASSYを外します。
5. 左右のフォークキャップボルトを緩めます。
6. アンダーブラケットのインナーチューブ締め付けボルト（4ヶ）を緩め、純正フロントフォーク ASSY（L/R）を取り外します。



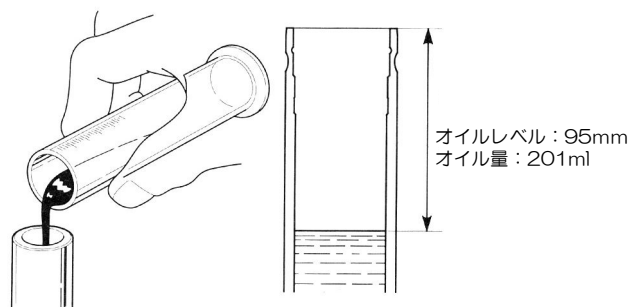
7. フォークスプリングが飛び出ないように注意してフォークキャップボルト (L/R) を外し、純正フォークスプリングを取り外します
  8. フォークオイルを規定量入れ、油面を調整します。フォークオイルを交換しない場合は、フォークオイルを必ず補充し、油面調整を行ってください。
- ※. このスプリングは、油面調整をSTD基準で設計しています。詳細は◆油面調整方法◆をご覧ください。
9. ①ローダウンフロントフォークスプリング (L/R) と交換します。その際、スプリングの上下方向に注意してください。
- ※. スプリングのピッチが狭いほうが下側です。
10. 取り外しとは逆の手順で元通りに取り付け、各部に異常がなければ作業は完了です。



## ◆油面調整方法◆

※. メーカーより発行されております、サービスマニュアルをご参照ください。

- ①. 規定量を目安にフォークオイルを注入します。
- ②. フォークチューブを数回伸縮させ、混入しているエアを抜きます。
- ③. フォークチューブをいっぱいに沈めた状態（スプリング無し之最屈時）でオイルレベルを調整します。



車種	オイル量（1本）	オイルレベル （インナーチューブ上端から）	番手
FAZE<MF11>	201ml	95mm （スプリング無し之最屈時）	#10

◎このスプリングは、油面調整をSTD基準で設計しています。但し、お好みにより、油面の調整をしていただいても構いません。

◎油面とオイルの番手を上げると、簡単にどうなるかといえば...

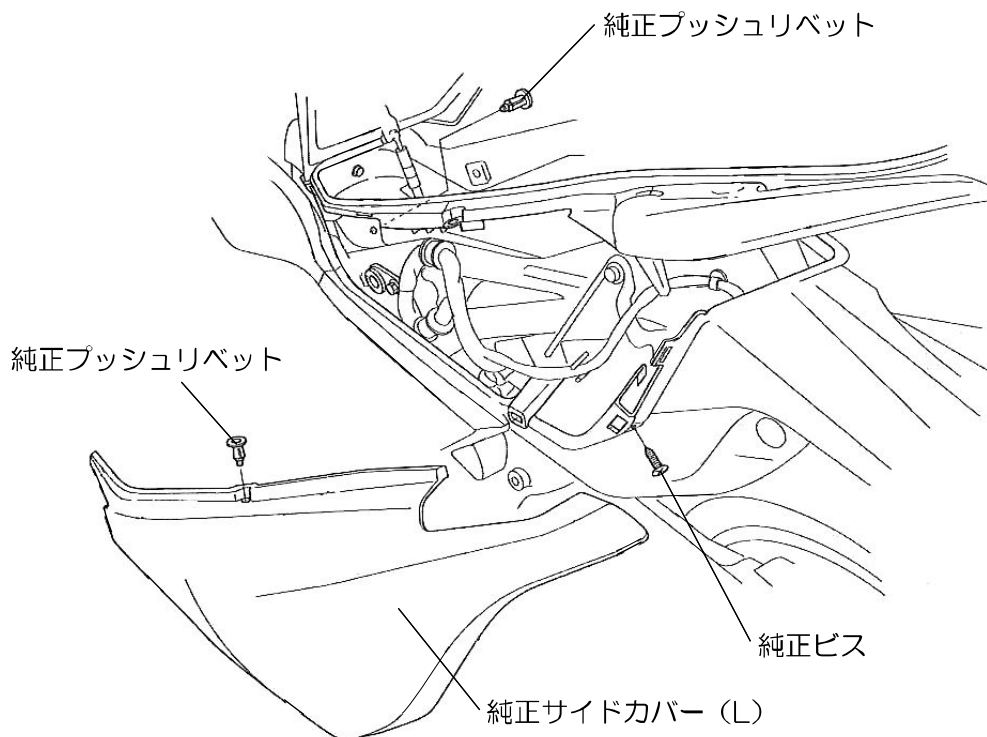
○オイルの番手を上げると、全体的に硬くなる。

○フォーク油面を上げると、初期沈みの変化は無いが、沈み込んでから硬くなる。

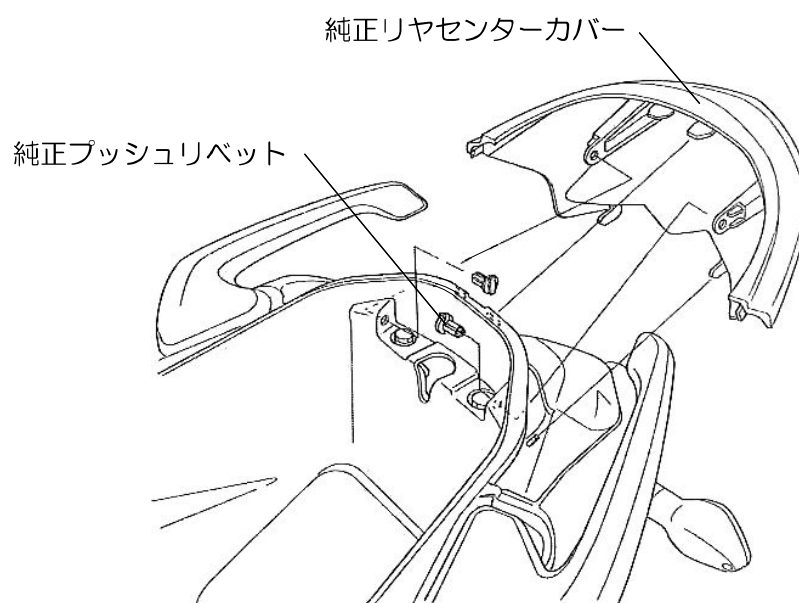
となりますので、お好みにより調整してください。

## ②ローダウンリヤショックの取り付け

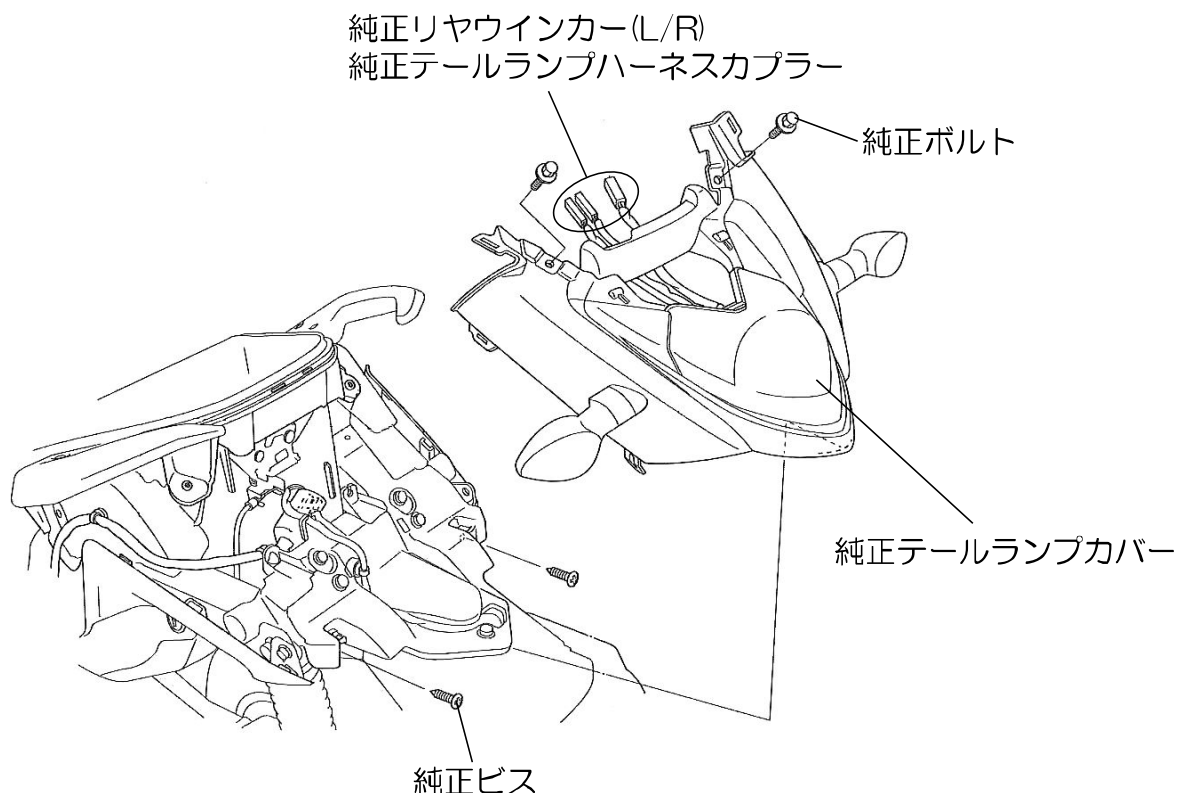
1. センタースタンドを使用し、車体をしっかりと固定します。
  2. ナンバープレートを取り外します。
  3. 純正シートを開き、純正プッシュリベット（2ヶ）と純正ビス（1ヶ）を外し、ツメに注意しながら、純正サイドカバー（L）を取り外します。
- ※. 純正サイドカバー（R）も同様に取り外します。



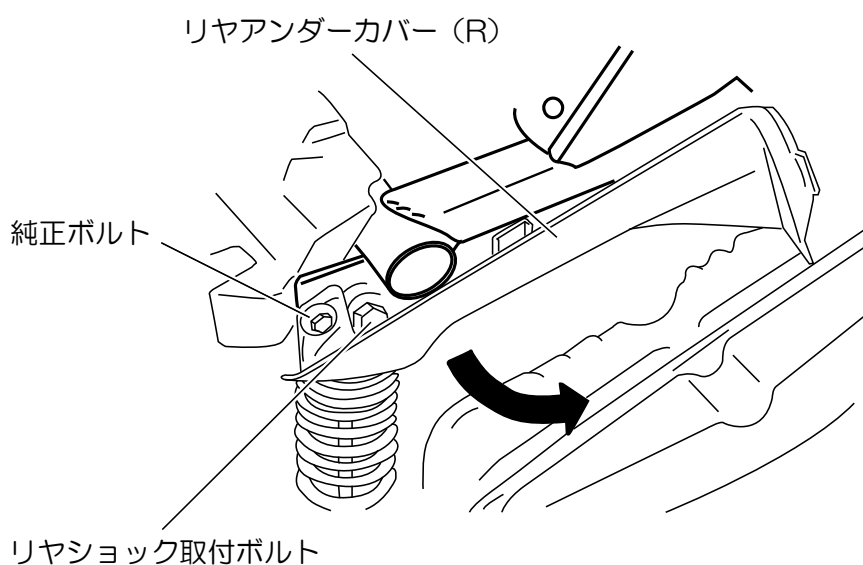
4. メットインBOX内より純正プッシュリベット（2ヶ）を外し、ツメに注意しながら、純正リヤセンターカバーを取り外します。



5. 純正リヤウインカー (L/R)、純正テールランプハーネスの接続カプラーを、それぞれ外します。
6. 純正ボルト (2ヶ) と純正ビス (2ヶ) を外し、ツメに注意しながら、純正テールランプカバーを取り外します。

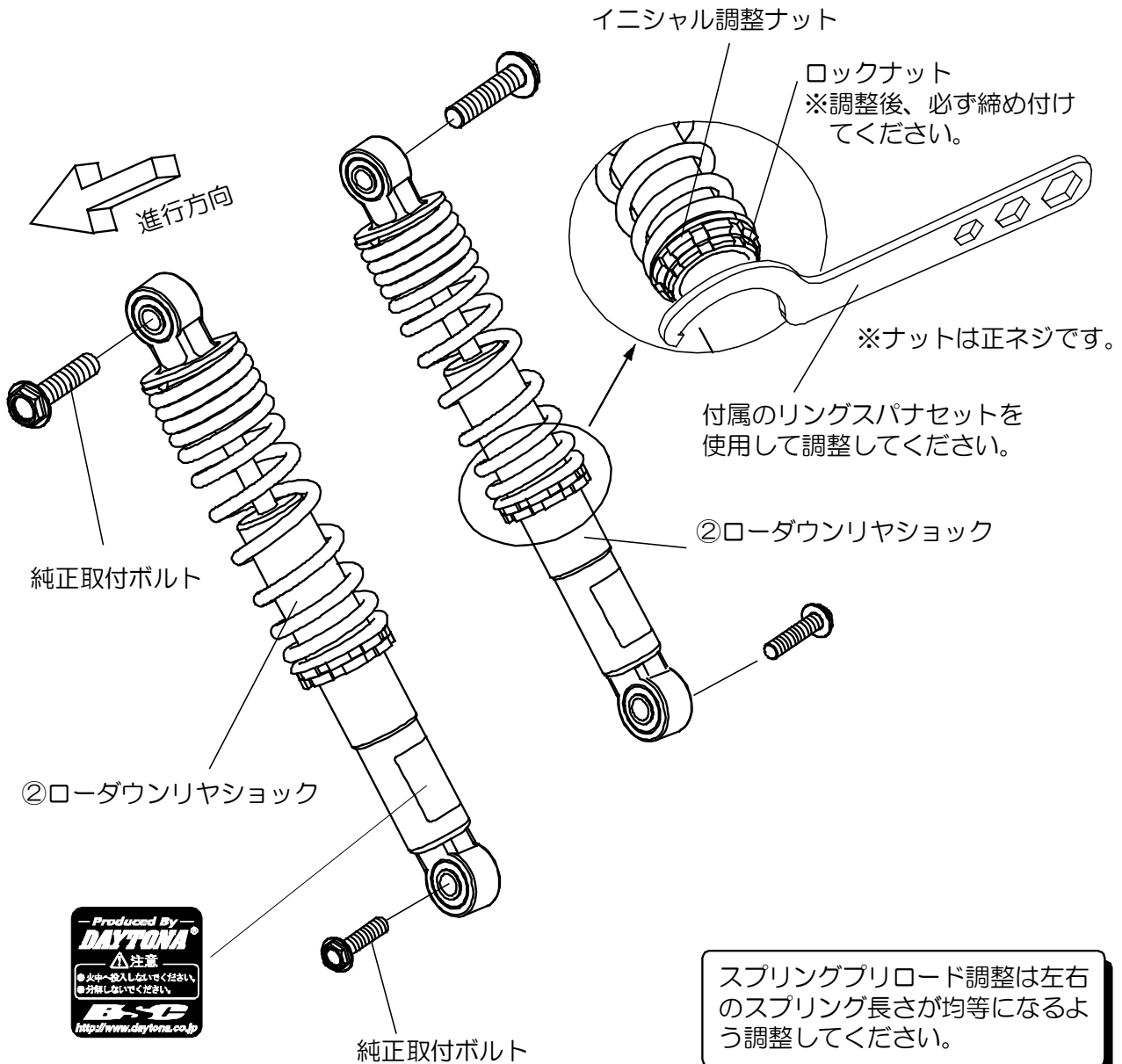


7. 純正ボルト (1ヶ) を外し、リヤアンダーカバー (R) を押し下げながらリヤショック取付ボルト (2ヶ) を外し、純正リヤショック (R) を取り外します。
- ※. 純正リヤショック (L) も同様に取り外します。
- ※. リヤアンダーカバー (L/R) を無理に押し下げると破損する可能性があります。十分注意してください。



8. ②ローダウンリヤショック（L/R）と交換します。取り外しとは逆の手順で元通りに取り付け、各部に異常がなければ作業は終了です。

Rショックマウントボルト締め付トルク：39Nm



スプリングプリロード調整は左右の  
スプリング長さが均等になるよう  
調整してください。

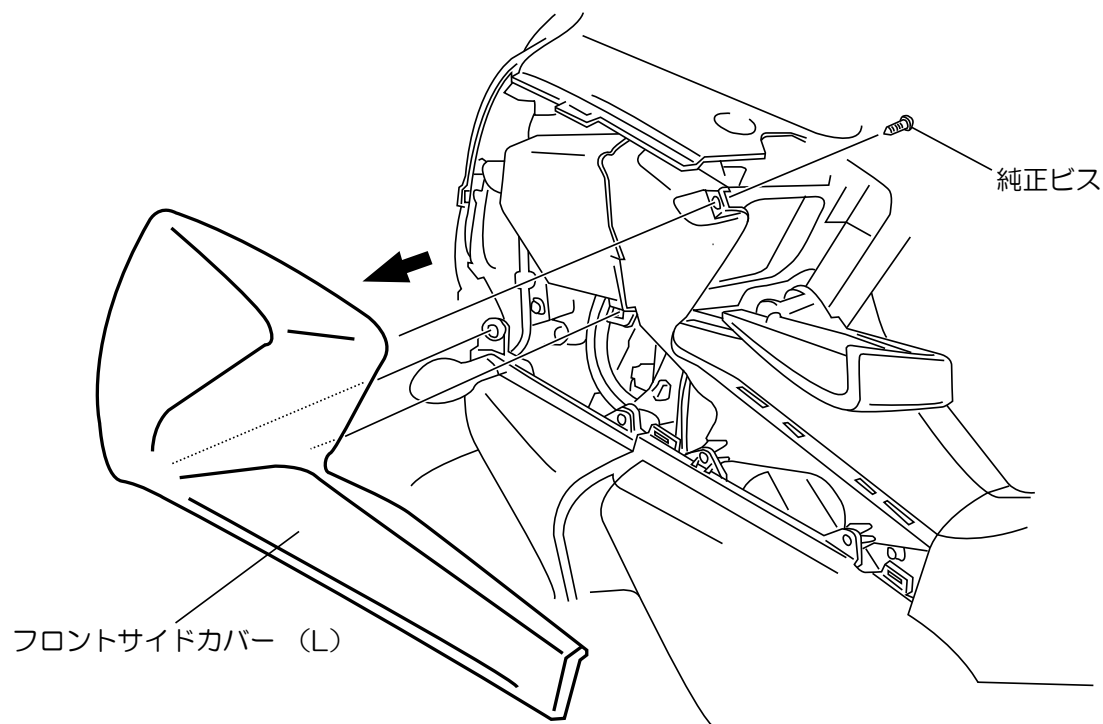
	<p>リングスパナ44mm/50mm</p> <p>この商品のスプリングプリロード調整には、当社ローダウンリヤショックシリーズ専用のリングスパナ（付属品、または47258）をご使用ください。</p>
--	---

- ◆ スプリングプリロードの出荷時の設定はスプリングセット長 199mm です。イニシャル調整ナットを締め込み、スプリングを縮めると乗り心地が硬くなり、伸ばすと柔らかくなります
- ◆ スプリングプリロードの調整は、スプリングが遊んでしまわないよう、必ずスプリングセット長 206mm以下となる範囲で行ってください。
- ◆ スプリングプリロード調整後は、必ずロックナットを確実に締め付けてください。

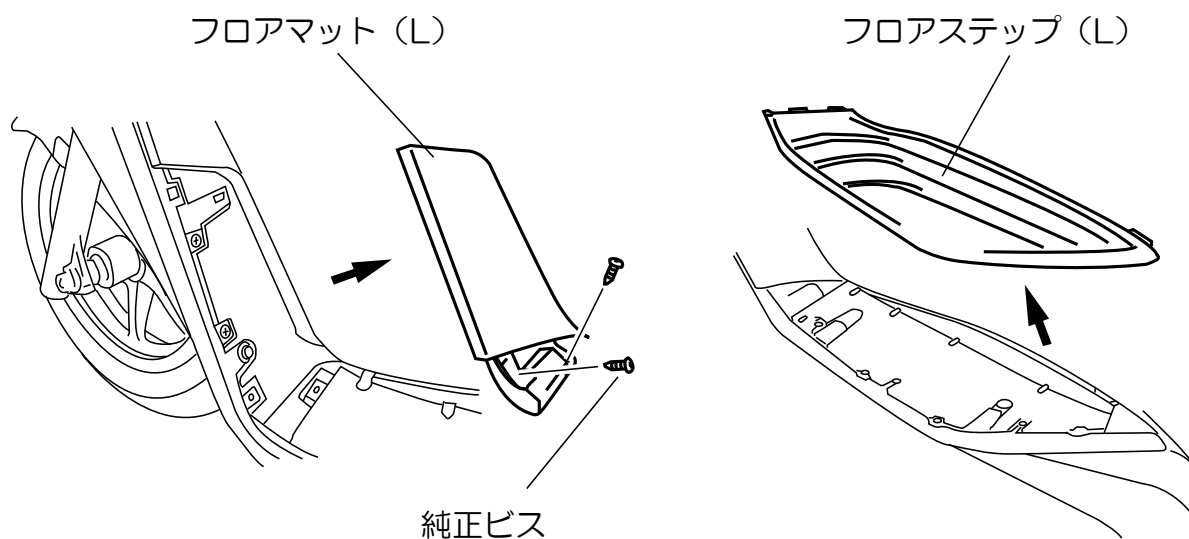


### ③ショートサイドスタンドの取り付け

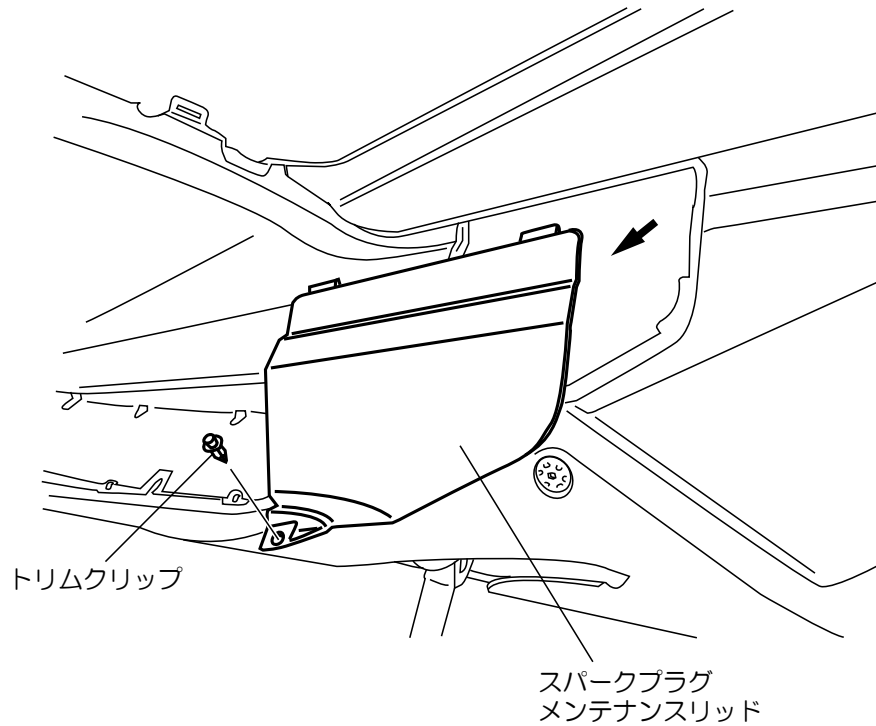
1. センタースタンドを使用し、車体をしっかりと固定します。
  2. 純正ビス（1ヶ）を外し、ツメに注意しながら、純正フロントサイドカバー（L）を取り外します。
- ※. 純正フロントサイドカバー（R）も同様に取り外します。



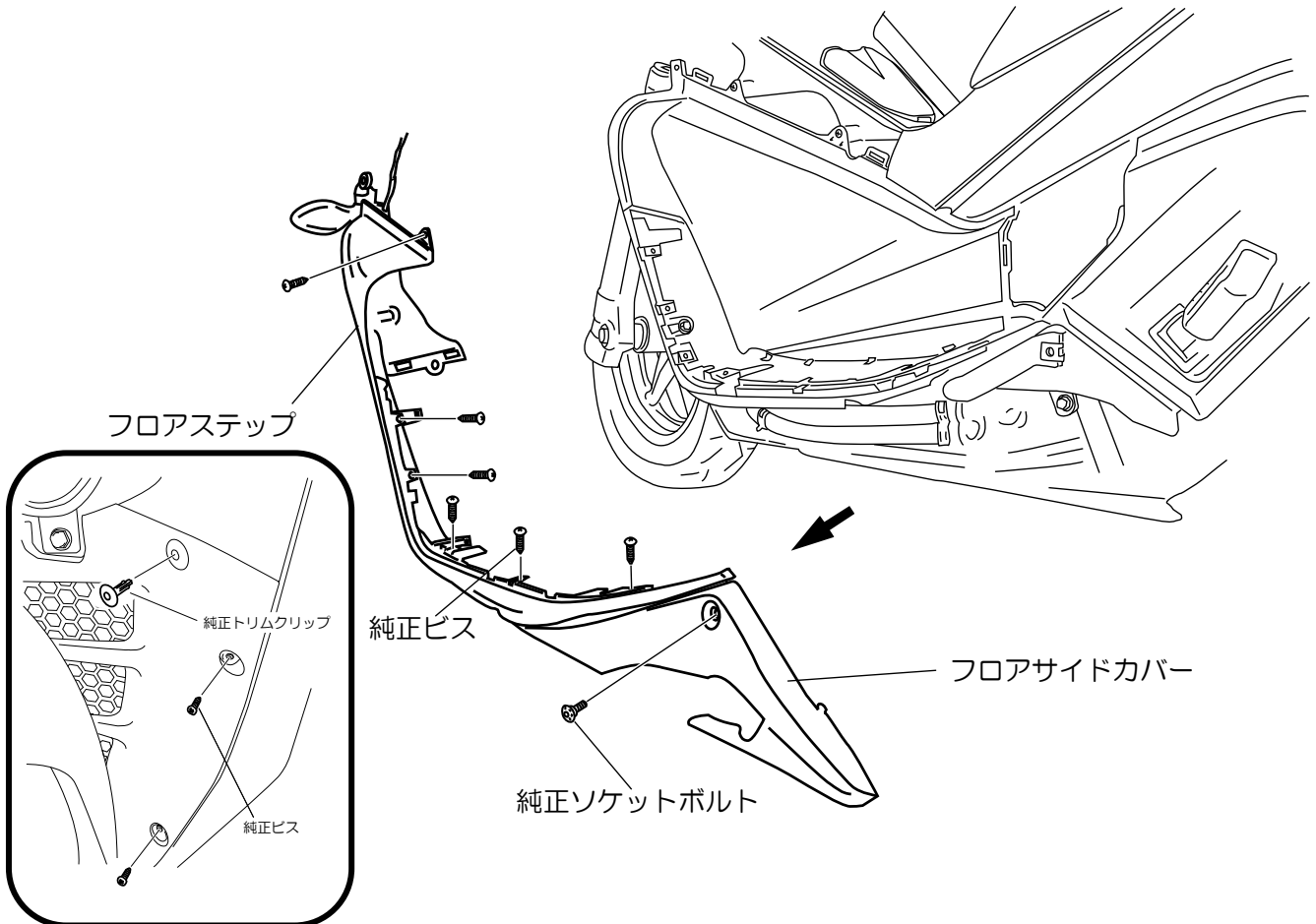
3. 純正ビス（2ヶ）を外し、純正フロアマット（L）、フロアステップ（L）を引き抜き、車体から取り外します。
- ※. 純正フロアマット（R）、フロアステップ（R）も同様に取り外します。



4. トリムクリップ (1ヶ) を外し、ツメに注意しながら、純正スパークプラグメンテナンスリッドを取り外します。



5. 純正フロアステップ (L) と純正フロアサイドカバー (L) 純正ビス (6ヶ) と純正ソケットボルト (1ヶ) を外し、車両前方の純正ビス (2ヶ) とトリムクリップ (1ヶ)、フロントウインカー (L) のカバーを外し、ツメに注意しながら、純正フロアステップ (L) と純正フロアサイドカバー (L) を一緒に後方に引き抜き、車体から取り外します。



6. スプリングフック等を使用して、純正リターンズpringを取り外します。

**※. 純正リターンズpringを取り外す際は、車体への傷付きや作業者自身の怪我等に十分注意してください。**

7. 純正ボルト（1ヶ）を外し、サイドスタンドスイッチを取り外します。

8. 純正サイドスタンドを固定している純正ボルト（1ヶ）とUナット（1ヶ）を外し、純正サイドスタンドを車体から取り外します。

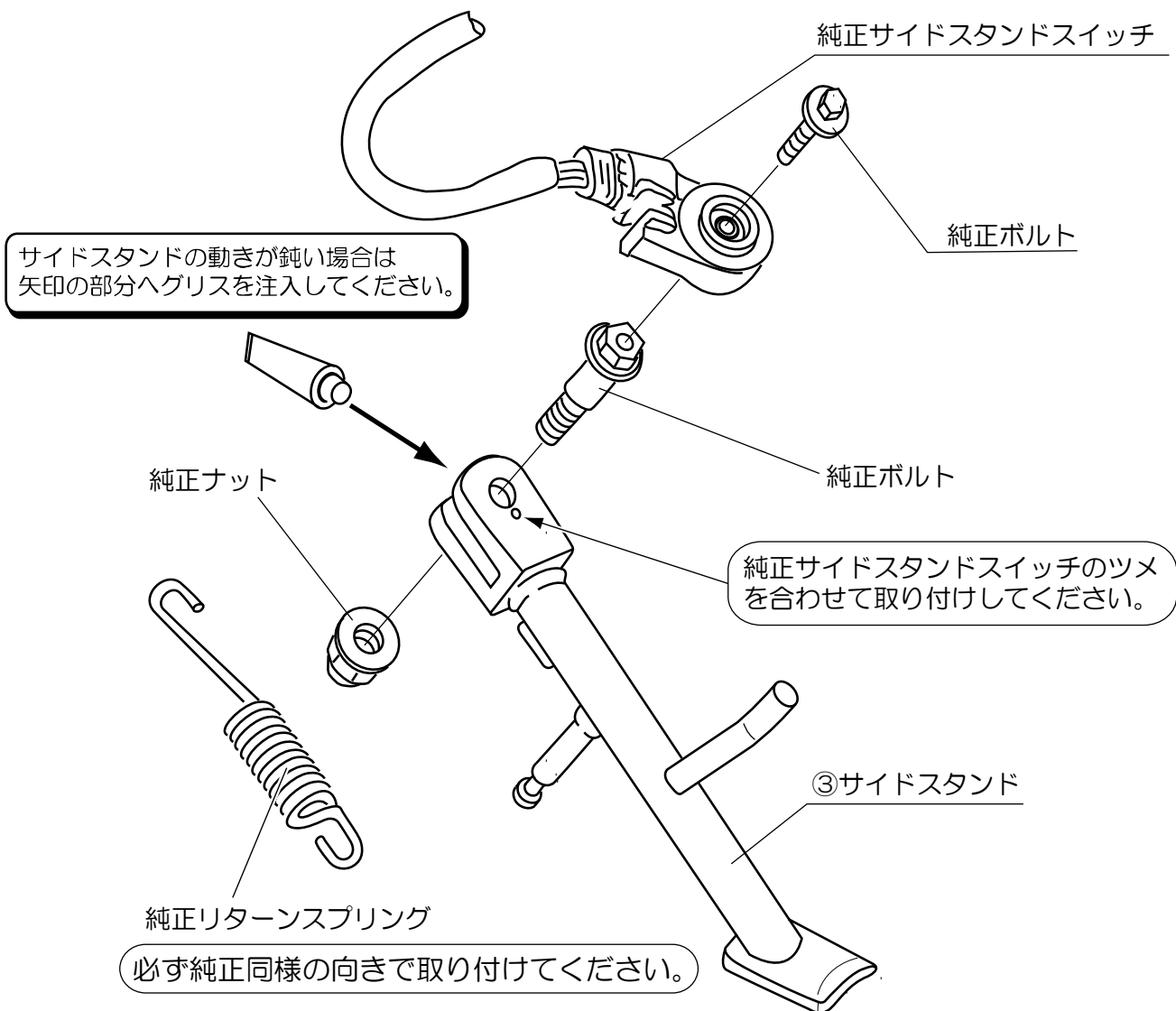
9. ③ショートサイドスタンドを純正ボルト（1ヶ）とUナット（1ヶ）で固定し、ツメに注意しながら、純正サイドスタンドスイッチを純正ボルト（1ヶ）で元通りに取り付けます。

10. 純正リターンズpringを純正同様の向きで取り付けます。

11. ③ショートサイドスタンドを何度か動かし、エンジンの始動等各部に不具合がないことを十分に確認します。

**※. サイドスタンドの動きが鈍い場合は、可動部をグリスアップしてください。**

12. 取り外しとは逆の手順で元通りに取り付け、各部に異常がなければ作業は終了です。



株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

E-mail: [info@daytona.co.jp](mailto:info@daytona.co.jp)

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで